

2011年度委員会事業報告書

J Cプライド推進室 室長 青山 巧
アカデミー委員会 委員長 佐藤亮治

1. 委員会開催日 (13回)

1/26 2/16 3/31 4/28 5/26 6/24 7/15
8/10 9/20 10/24 11/4 11/14 12/16

2. 事業報告

- ①例会の担当 2月17日・11月17日
- ②オリエンテーションの担当(4回) 7月22日・8月23日・9月28日・10月22日
- ③西尾張6 J C合同オリエンテーションの担当 6月27日
- ④新入会員募集の担当 通年
- ⑤新入会員の拡大の担当 通年
- ⑥わんぱく相撲(5月例会)への参画 5月21日
- ⑦J Cデー(8月例会)への参画 8月13日
- ⑧ローカルマニフェスト型公開討論会への参画 4月15日

3. 委員会メンバー

佐藤亮治 澤村知伸 黒川博盛 平本直靖 平野貴彦 廣田幸治
新入会員
吉岡和也 服部高志 猪飼貴司 杉本武嗣 鴫澤進一 新實功一朗

4. 反省点及び申し送り事項

会員拡大において、全てのメンバーに周知徹底し拡大運動に巻き込んでいくことが最重要だと考えました。まず、会員拡大運動をより身近に感じていただくために、自分が生活してみえる地域を意識したエリアミーティングをエリア毎で2回ずつ計12回定期的に開催させていただきました。本会は情報提供の場としては有効でしたが、委員会として、その後の会員拡大運動への巻き込みの働きが甘く、メンバーの拡大意識を劇的に変化させるまでには至りませんでした。エリアミーティング等で得られた候補者を勧誘に行く際には、必ずメンバーに同伴していただき、当事者意識を持っていただくことが必要だと感じましたので申し送りとさせていただきます。エリアミーティングに関しましては、会員拡大運動は継続的に行っていく事業ですので、単年度制で毎年組織の形が変わるJ Cにおいては、年度の度、委員会ごとに目標を定めるよりもエリア毎に定めた方が毎年継続して行っていけるという点や、普段、社業や生活の場であるエリアですので、会員拡大運動を常日頃より意識していただければ、メンバー間同士のコミュニケーションも取り易いという点で、将来的により効果の得られる方法であると確信しております。次代に繋がる会員拡大と捉え、次年度以降も、より有効な会に進化していただくことをお願いするとともに、申し送りとさせていただきます。エリアミーティングや担当例会を通じ、メンバー全員の拡大意識の向上を図りました。その甲斐もあり、確かにメンバーの拡大意識の向上は図れたと確信しておりますが、委員会として、その

意識を最後の最後まで持続させ、高めていく働きかけが未熟だったと反省し、メンバーを巻き込んでいくためには、地道な働きかけが必要だと思っておりますので、申し送りとさせていただきます。

会員育成につきましては、オリエンテーションを通じて J C 愛を芽生えていただくことを目的に 4 回にわたり開催させていただきました。4 回のオリエンテーションを通じて、また事ある毎に、志高き J A Y C E E となつていただくために伝えるべきことを伝えてまいりました。しかし、委員長、副委員長をはじめとするアカデミー委員会のみで、伝えることの難しさも痛感致しました。新入会員に対して、より有効に育成を行うためには、どんな人財に育てていきたいのか、スポンサーをはじめとする全てのメンバーと共有することで、LOM をあげて、より説得力を増した育成が実践できると確信致しましたので申し送りとさせていただきます。

また、第 3 回オリエンテーションではフットサルという手法を用い、例年にないメンバー間同士の仲間意識を高めることを目的に開催させていただきました。本オリエンテーションを終えて、新入会員予定者とメンバーとの親睦が深まったことで、その後の各事業に対して、新入会員予定者の出席率も上がり、社団法人海部津島青年会議所の一員としての意識が得られました事を申し送りさせていただきます。

最後に、新入会員との関わり合いの中で、メンバーそれぞれの J C への愛着をより深めていただき、会員育成、例会を通じて J C プライドとして L O M に共鳴し響き渡らせることができたことと確信しております。

5. 委員長所見

アカデミー委員会として、新入会員の獲得、育成は当然のことながら、社団法人海部津島青年会議所の今後の拡大運動の礎を築くことを目標に、会員拡大・育成に全メンバーを巻き込んでいく気概を持って臨ませていただきました。

本年度は、横井理事長自ら先頭に立って拡大運動にご尽力いただき、事ある毎にお力添えをいただきました。理事会前の時間を定例会員拡大運動とまでしていただき、横井理事長の拡大運動に対する姿勢を身近で体感させていただきました。また、新たな手法として、エリアミーティングを開催させていただいた中で、忙しい中、お集りいただく皆さんの気概も感じさせていただきました。理事長をはじめメンバー皆さんの拡大運動に対するご尽力に対し、目標人数に遠く及ばなかった事が悔やまれ、猛省しております。

しかしながら、メンバーの皆さんのご協力・ご支援のもと、約半年間に及ぶ充実した育成期間を過ごせたことで、志高き 6 名の新入会員を得る事ができました。在籍年数が 10 年を超える新入会員も得られ、近い将来 L O M を牽引する人財としてアクティブに活躍し、実りある J C ライフを全うしていただけるものと確信しております。また、過去にあまり例のない飛島村在住の新入会員を得られたことで、今後の拡大運動の新たな窓口としての活躍も期待できるものと考えます。

また候補者に対し、J C の魅力を余す事無く伝えるためには、勧誘する者が J C に愛着を持つ事が大事だと考え、まずは私自身が全ての事業に対し積極的に参加するよう努めてまいりました。会員拡大・育成運動を通じて、自分自身が J C に深い愛情を持つことができましたし、入会に至らなかった候補者に対しても、J C の持つ魅力を伝える事はできたと確信しております。今後、その種が芽を出し実ることを願うと共に、今後の会員拡大運動に対し、全面的にバックアップさせていただく所存でございます。

最後になりますが、アカデミー委員長という大変貴重な経験を与えていただきました横井理事長をはじめ、会員拡大・会員育成に多大なるご尽力をいただきました全ての皆様から感謝申し上げます。

げると共に御礼申し上げます。一年間、ありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	40,000	事業費	39,462	②	40,000	②	39,462
合 計	40,000	合 計	39,462	合 計	40,000	合 計	39,462